

## 令和2年度第1回自立支援協議会相談支援部会 議事要旨（公開用）

1. 開催日時 令和2年7月14日（火）午後1時30分～3時30分

2. 開催場所 市役所4階S2・S3会議室

3. 出席者（委員）＊団体名のみ記載

リーダー：（福）パーソナル・アシスタンスとも

サブリーダー：（福）サンワーク

委員：いちょうの会、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安市身体障害者福祉会、浦安手をつなぐ親の会、（福）敬心福祉会、（特非）千楽、（特非）発達わんぱく会、（特非）かぶあ、（特非）タオ、（福）佑啓会、介護給付費等の支給に関する審査会、中核地域生活支援センターがじゅまる、中央地域包括支援センター、こども発達センター、社会福祉課（事務局）障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

（1）第1回自立支援協議会の協議内容の報告

（2）令和元年度相談支援部会の振り返りと令和2年度の議題について

（3）障がい者福祉計画の策定と障がい福祉に関するアンケート調査結果について  
以下、非公開

（4）地域課題について

①相談支援をしていく中で、困りごとを抱える対象者その理由について

②今後の課題について

（5）その他

（6）作業部会

配布資料

議題（2）資料1 令和元年度振り返りと令和2年度の議題について

議題（2）資料2 （当日資料）令和元年度第4回相談支援部会の振り返り

議題（3）資料1 浦安市障がい者福祉計画について

資料2 障害者計画及び第6期障害福祉計画に係る基本方針について

資料3 アンケート結果（当事者向け）

アンケート結果（事業者向け）

議題（5）資料1 地域生活支援拠点等運営要領（案）抜粋

議題（6）資料1 架空事例

5. 議事概要

1. 第1回自立支援協議会の報告

第1回自立支援協議会の内容を報告。議題1、令和2年度スケジュールについては、今年度の自立支援協議会は、障がい者福祉計画策定委員会と合わせて開催している、9月開催予定としていた第1回合同部会は開催しないこととした。

議題2、部会活動報告では、部会委員からの意見に対する審議事項について次の3点を報告した。

①傍聴について架空事例であっても非公開とすることは妥当。ただし、部会委員であれば、非公開の作業部会でも傍聴可能とすることに運用を変更した。

②各部会の議事要旨について、委員全員に確認することとした。

③部会への委員の追加について、2年の任期中のため委員の変更はできないが、議題や特定のテーマに応じて、他の部会の委員等に参加いただくことは可能なため、テーマによって、そういった方をお呼びするという対応したい。

議題3、東野地区複合福祉施設では、東野複合福祉施設の概要、愛称（「東野パティオ」）決定の報告と決定までの過程、施設に導入する主な機能と運営開始日の説明を行った。

議題4、新型コロナウイルス感染症対策については、新型コロナウイルス感染症における市内各事業者の運営状況の経過、事業者からの要望、市の取組について説明を行った。

リーダーからの補足で、協議会から相談支援部会へ、新型コロナウイルス感染症や大雨による災害が発生している状況の中、災害時の要配慮者等について、平時から情報をいかに把握して支援していくことが危機回避では大事ではないかという意見があった。

相談支援部会では地域課題の整理・発見が期待されているが、今後の自立支援協議会の部会編成では地域課題ごとに編成したほうがよいのではないかなど意見があったことを報告した。

#### ■主な意見はなし

### 2. 令和元年度相談支援部会の振り返りと令和2年度の議題について

令和元年度は主に事例検証を行い、初動対応や連携について整理を行った。

協議会からは、地域課題の抽出・整理を期待されているので、令和2年度は地域課題を議題とし、引き続き事例検証等を行いながら成果物として事例集を完成させていくこと、また、今年度は障がい者福祉計画についても議題とすることを確認した。

#### ■主な意見はなし

### 3. 障がい者福祉計画の策定と障がい福祉に関するアンケート調査結果について

障がい者福祉計画の策定と障がい福祉に関するアンケート調査結果について事務局より報告した。

#### ■主な意見（リーダー：リ、サブリーダー：サ、委員：委、事務局：事）

委：回答率が10%程度上がった要因についてどう考えているか。

事：アンケート調査項目を分かりやすく見直したこと、年末年始にかけて実施したことで、ご家族などと一緒に書くことができたという方が多かったのではないかと考えている。

リ：アンケート結果について、現場で感じていることや支援している方の困り感が結果に表れているのか、相違があるのかを見てもいい。回答者の半分以上が高齢の障がい者という中で、アンケートに答えられない方や、アンケート結果だけでは見えない現場で困っていることなどもあると思うので、意見を言ってほしい。

### 4. 地域課題について

地域課題の抽出及び整理をしていくため①現在困っている相談事例②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う今後の課題について伺いながら、地域課題について協議を行った。事例や意見については以下のとおり。

**【コロナ禍】**

- ・サービス利用を自粛したために保護者がストレスや悩みを抱え込み、問題が発生している事例（結果、虐待事例に至ってしまった）
- ・障がいのある子どもたちの環境変化への適応の難しさ（発達障がいの子も等は見通しが立たないことで影響があった）
- ・自粛期間中に精神状態が悪化している事例
- ・緊急事態宣言が解除されたが、これまでの日常に戻らないフラストレーション

**【支援につながらない】**

- ・客観的にみると支援が必要だが、本人が支援を受け入れない事例  
（8050世帯の子ども世代やゴミ屋敷状態となっている居住環境の方がセルフネグレクトになっている事例）（障がい当事者の配偶者が外国の方の事例）
- ・療育を始めるか障がいがあるかないかで模索している未就学児の家庭が相談につながりづらいという事例（相談できる場所の情報提供の不足、周囲から頑張れと言われ、困り感を伝えづらくなっている）
- ・障がいを持つ方の配偶者が外国人で、言葉の問題で支援がつながりづらい事例

**【足りない社会資源】**

- ・遠方の短期入所等の事業所へ移動する手段で困っている事例（市単独の送迎サービスが廃止となった）
- ・ヘルパー不足についてどう解決していくか（幾度となく議論しているが具体策にたどり着けないことが課題）
- ・家族が病気やケガで介護・介助ができない場合に、1か月単位で宿泊できる短期入所が身近な地域に必要。
- ・グループホームでの重度障がいの方の受け入れが広がらない

**【支援スキル】**

- ・特性に応じた支援力が不足している

**【その他、コロナが出現して・・・】**

- ・消毒と換気で時間を費やす状況
- ・感染への常態的な不安（心理的な負担）

地域課題については引き続き審議していくこととした。

## 5. その他（地域生活支援拠点における緊急支援体制について）

地域生活支援拠点における緊急支援体制の概要について事務局から説明を行い、意見を伺った。

主な意見では、対象となる障がいや年齢についての確認、夜間における緊急の定義について、認識が異なる場合があるので、本人や各機関で共有しておくべきではないかという意見があった。